

『現代のジャンヌダルク』

深浦診療所 医員 山田悦輝

まだコロナの猛威が続いております。

最近また新たなコロナ感染症治療薬が出てきましたが、予防にはワクチン接種が最も効果あるとされております。

多くの方に受けて頂きたいとお願い申し上げます。

拡大した資本主義の暴走が引き起こした世界的な環境破壊（二酸化炭素などの温室効果ガス濃度の増大などによる地球温暖化、気候変動）、そしてそれに伴う森林破壊などがコロナ流行の原因とも言われております。

新型ウイルスのパンデミック（感染症の世界的大流行）となってしまいました。

スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん、皆様ご存じの方も多と思います。

2018年、当時15歳、気候変動対策を要求、ただ一人で学校ストライキに立ち上がった若い女性です。

「無限の経済成長というおとぎ話」を批判、資本主義に代わる「新しいシステム」を求めて闘っております。

私たちは、経済成長を目指した資本主義世界で生きて参りました。格差の拡大・自然破壊を半ば黙認しながら。

気候変動対策に関して、日本は少し立ち遅れているようです。

それでも世界には、色々な明るい動きがあります。

新しいシステム作りを目指し、成果を出しているスペイン・バルセロナ市は今、世界中から注目を浴びております。

また、合理的で自然環境に調和した都市改革を目指す各国の地方自治体も増えているようです。

活躍する皆様が一番後ろに付いて、私も環境破壊に立ち向かいたいと思います。

グレタさんは、現代の「ジャンヌダルク」だと私は思います。

「農地の所有権移転・地目変更・転用許可申請」・
「遺産分割協議」等々
行政事務にかかわる「お悩み」のことについて、
お気軽にご相談を！！

行政書士 **岩谷 司 事務所**

【青森県行政書士会所属】

住所 038-2501 青森県西津軽郡深浦町大字柳田字築棒沢133番地11
電話・FAX 0173-76-2753



会社やお店の
宣伝・イベントの
告知にご利用
ください！

**広告
募集中**

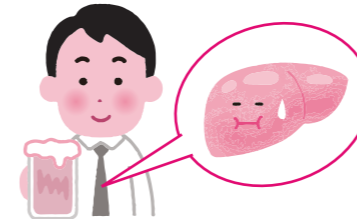
■問合せ先
総合戦略課
企画調整係
TEL 74-2122

『健康こそ宝』 深浦町保健センターだより

お酒と肝臓の病気

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、症状が出にくい臓器です。黄疸（皮膚や眼球が黄色くなる状態）など身体に異常を感じた時には、すでに病気は進行しています。

お酒と肝臓の関係



肝臓は、アルコールを分解・吸収し、中性脂肪に変えるという働きがあります。中性脂肪は、エネルギー源として全身の細胞に送られます。しかし、お酒を飲みすぎるとアルコールの分解・吸収が間に合わず、中性脂肪が肝臓にどんどん溜まってしまいます。

アルコールが原因となるいろいろな肝臓病

○脂肪肝○

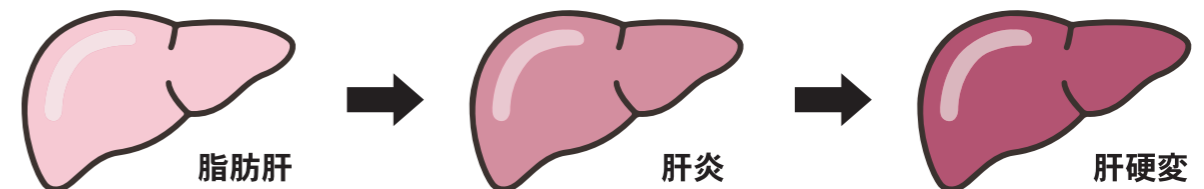
お酒の飲みすぎによってまずなるのが脂肪肝で、肝臓の中に脂肪がたまってくる状態です。最近では、食べすぎによる肥満や糖尿病による脂肪肝も増えているので、区別が必要です。飲酒が原因の脂肪肝は、飲酒をやめれば短期間で改善するのが特徴です。

○アルコール性肝炎○

脂肪肝の状態ですらに大量の飲酒をした場合にアルコール性肝炎（腹痛・発熱・黄疸などの症状）という危険な状態になり、死亡する場合があります。アルコール性肝炎の診断をされた方のほとんどは、その時点でアルコール依存症になっていることが多いです。

○肝硬変○

肝硬変はアルコール性の肝臓病の最終段階です。重大な症状としては腹水（お腹に水が溜まった状態）・黄疸・吐血などがあります。肝硬変と聞くともう治らない病気と考えられていますが、断酒（ずっとお酒を一滴も飲まないこと）で肝硬変は改善すると言われています。



肝臓の悲鳴に気づくため

見つける

健康診断や人間ドックで、定期的に肝機能をチェックしましょう。

治療する

肝炎や肝機能の異常を指摘されたら、早めに内科を受診しましょう。

いたわる

食べすぎ飲みすぎには気を付け、バランスの良い食事を心がけましょう。

【問い合わせ】 健康推進課 電話 TEL 82-0288